



大阪府立大学 21世紀科学研究センター

ライブセルイメージング研究所

研究所主催のセミナー

日時：平成30年10月2日（金） 14:00～15:30

場所：先端バイオ（C17）1階 講義室（左）

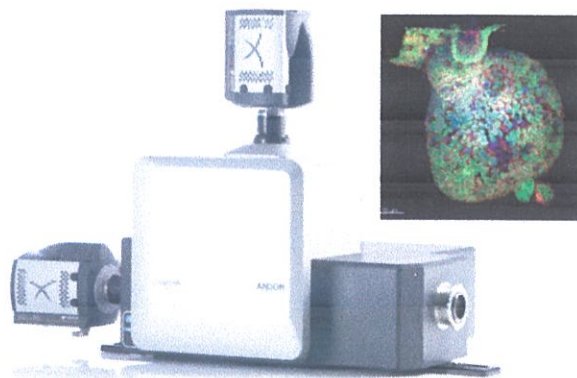
高速共焦点システム **Dragonfly** の可能性について

アンドール・テクノロジーLtd 渡邊 俊之

本セミナーでは高速共焦点顕微鏡システム「**Dragonfly**」の特徴を実例を交えながら紹介します。**Dragonfly**はニポウディスクタイプの共焦点システムをベースとして開発された、多くのアプリケーションに対応可能な新規のイメージングプラットフォームです。コアとなる技術は **Borealls** 照明で、これにより従来より問題となっていた照明ムラを低減し、かつ、定量性も向上しました。タイリング像取得時のつなぎ目も目立ちにくく、広範囲の視野を高解像度で短時間にイメージング可能でZ側の分解能も向上し、細胞内構造の3次元イメージングにも最適です。

検出器に超高感度の **EMCCD** や **sCMOS** カメラを使用することで、光照射ダメージが少ない条件で生細胞観察ができるほか、1分子蛍光のような微弱なシグナルの検出にも最適です。検出波長も **425-850nm** に対応しており、組織のより深層部まで観察可能な長波長の蛍光プローブも使用できます。さらに、超解像顕微鏡の分解能が必要な際は、**ClearView GPU™-Deconvolution** や

SRRF-Stream など、複数の超解像モードが選択できるほか、共焦点、全反射照明（**TIRF**）、**Widefield** イメージング機能を同時に搭載可能で、幅広い用途で使用することができます。



連絡先：大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科応用生命科学専攻 杉本憲治（内 4686）

http://www.osakafu-u.ac.jp/academics/orp/21c/live_cell/